

## 日本の環境政策の前進に向け 議員懇談会を開催



「停滞している日本の環境政策を前進させるため」2016年10月25日、2回目となる、国会議員との懇談会が衆議院第一議員会館で開かれました。国会会期中にも関わらず5名の議員と小林正明環境事務次官(写真)が参加されました。

### ●なぜ環境政策が進まない？

懇談会の冒頭、藤村共同代表(環境文明21)が「きついとも言いますが、基本的には環境省を応援しています」と挨拶。環境省の小林事務次官も「NPOは環境政策を進める同志」と答え、「難しい問題を国民に分かりやすく伝える伝道師として期待している」「温暖化、生物多様性、SDGsについてはステークホルダーの声を聞くところから進めたい」と挨拶しました。

このあとグリーン連合からは「なぜ日本の環境政策は進まないのか」と題した話題提供がありました。

「環境よりも経済を優先させる政策がここ20年余り続いている」加藤顧問(環境文明21)、「政策の決定プロセスが不透明で業界団体主導で決められている」藤村共同代表、「国連の提唱する予防原則が、昔の公害

問題から今日に至るまで一度も取り入れられてない」中下共同代表(ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議)、「ビジョンをつくって、それに向かって政策を作っていく必要がある」枚本共同代表、「市民参加を保障するオース条約を批准し、経営団体、労働団体、環境団体の3者で政策決定していく必要がある」橘高監事(オースネット)という発表がありました。

### ●国会議員からの発言(順不動)

- (1) 阿部知子衆議院議員(民進党)  
「気候変動問題を解決するグリーン政策は力を合わせてやっていきたい」
- (2) 福田昭夫衆議院議員(民進党)  
「栃木県知事時代に、東京ガスの電力の方が東京電力よりも安いことを知り、国のエネルギー政策に疑問を持った」
- (3) 北川知克衆議院議員(自民党)  
「遅れを指摘されているパリ協定の対応について、しっかり責任を果たせるよう対応する」
- (4) 篠原孝衆議院議員(民進党)  
「オバマ大統領がCO2削減のためにカナダからの天然ガスパイプライン

ン開発に待ったをかけたところ、NAFTA(北米自由貿易協定)の規約を使ってカナダの企業から訴えられてしまった」

(5) 田島一成衆議院議員(民進党)  
「マイクロプラスチックの法的規制はアメリカでも行われており、日本でも法制化を考えている」

### ●持続可能な経済ビジョンを

国会議員からの発言を受けて、加藤顧問が「民進党は中長期的な持続可能な経済ビジョンを出すべきではないか」と直言。

これに対して、田島議員からは「再生可能エネルギーで十分賄える試算結果を出したので、全国キャラバンで伝えていきたい」「環境政策で日本を立て直すためにエッジの効いたマニフェストを次の衆議院選挙で出したい。そのためにみなさんのお知恵を借りたい」と応じました。

当日の参加者との意見交換もあり、GDPとCO2とのデカップリング(経済成長しながらのCO2削減)、消費者団体と環境団体が食品の化学物質問題などで協力する必要性、形骸化したパブリックコメントよりも効果的に環境省に意見を届ける戦略、グリーン連合でビジョンづくりを進める見通し、などが話題となりました。

グリーン連合では、来年1月10日に、環境省との意見交換会を開催しようと準備中です。

(文責:幹事・山田岳)



# 富山市で地域交流会を開催 各エリアで開催していきます



## ●富山市で地域交流会

富山市において2016年12月4日(日)にアースデイとやま2016実行委員会との共催で地域交流会を開催しました。グリーン連合の活動を地域で広げ、政策提言活動と地域での実践活動をつなげるため、相互の活動や思いを学び合い、地域での実践活動の輪を広げることを目的としています。

今年5月に富山市ではG7環境大臣会合に合わせて、26回目となるアースデイ・フェスティバルと共に環境市民フォーラムが開催され、地域だけでは無く全国から環境市民団体が集まり交流をしています。今回の地域交流会では、冒頭に藤村共同代表からグリーン連合の取り組みや市民版環境白書「グリーンウォッチ」の紹介を行い、幹事の松原から執筆を担当した再生可能エネルギーに関する現状と課題を示しました。

地域の活動を知るミニプレゼンでは、地域の3つのNPOがそれぞれ

の取り組みを紹介しました。富山市の「きんたろう倶楽部」では里山の保全活動、アートNPOヒミングでは氷見市での地域活性化の取り組み、そして富山市の「立山自然保護ネットワーク」では立山連峰の自然保護活動が行われています。そして、地域の未来につなぐ先進的な事例として南砺市菅沼の「合掌の森再生プロジェクト」および長野県飯田市の「風の学舎からのメッセージ」に関する紹介がありました。その後、6つのグループに分かれてワールドカフェ方式で地域での環境問題への取り組みにおける協働のあり方や地域づくりの方法について熱心な議論が行われました。(文責:幹事・松原弘直)

## ●各地でも地域交流会を開催へ

グリーン連合では2年目の活動の柱として、地域交流会の開催を掲げています。これは当会の活動を地域で広げ、相互の活動や思いを学び合い、地域での実践活動の輪を広げることを目的としたものです。

各地域の会員の皆様には、ぜひご参加いただきたく思いますし、会員でない団体をお誘いいただき、グリーン連合の輪を広げて行ければと思います。

開催に際しては、地域の会員団体や中間支援団体等との共催という形で準備を進めており、プログラム等の詳細事項については固まり次第グ

リーン連合のWebサイトで告知していきます。開催日程は次の通りです。

### <開催日程>

- 【北海道エリア】  
1月21日(土)  
札幌エルプラザ(札幌市北区)
- 【東北エリア】  
2月19日(日)  
エルソーラ仙台(仙台市青葉区)
- 【北陸エリア】※開催済  
12月4日(日)  
サンフォルテ(富山市湊入船町)
- 【近畿エリア】  
3月4日(土)  
ピアザ淡海(大津市におの浜)
- 【中国エリア】  
2月25日(土)  
きらめきプラザ(岡山市北区)  
(文責:事務局長・古瀬)

### ■環境省とNGO意見交換会

- ・2017年1月10日14時～
- ・環境省第一会議室(中央合同庁舎5号館)
- ・事前に事務局まで申込を



市民版環境白書「グリーンウォッチ」は当連合ホームページからダウンロードできます。

## 会員団体募集中!

グリーン連合では、会員団体および個人サポーター(年会費1口2,000円以上、年間予算規模に応じて設定)を募集中です。たくさんの仲間が加わることで、メリットは大きくなります。ぜひご参加ください。

団体名、代表者名、ホームページ、住所、電話番号、FAX番号、担当者名、担当者役職、メールアドレス、直近の財政規模をお書きの上、事務局までFAXまたはメールでお送りください。※事務局メールアドレス変わりました

### ●グリーン連合事務局

FAX:03-3255-2202 E-mail: [contact@greenrengo.jp](mailto:contact@greenrengo.jp)